

兵庫県議会議員

県政報告



朝な夕なの冷え込みが、ことのほか厳しく感じられる季節を迎えています。今年も、地震、台風の再三の来襲、ゲリラ豪雨と自然の猛威に翻弄され、改めて安全安心の確保の大切さを痛感しました。姫路市民の皆さまには、ご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素よりのご厚情に衷心より感謝申し上げます。

皆さまの心温まるご支援をいただき、歴史と伝統に輝く兵庫県議会に議席をお預かりして早や1年5カ月、父・五島たけしが取り組んできた政治の高き志を継承し、愛するふるさと姫路の発展に挺身する決意を胸に刻みつけつつ、全力疾走を続けてきました。

地方こそ成長の主役

さて、統一地方選に際して、自民党は、「地方こそ成長の主役」をスローガンとしました。「地域創生」が、まさに時代的テーマとなっています。シャープ勧告に謳われた地方自治に始まり、地方の時代、地方分権と呼称は変わっても、常に、内政面における主要な課題であり続けました。

しかし、今日ほど地方が注目を集める局面は存在しませんでした。「地方創生なかりせば、日本の創生はない」と全国知事会の意見具申

未来を展望し兵庫創生進める

にある通り、地方の真価が問われています。

信頼回復へ範となる

一方で、地域創生は極めて中長期的な課題であり、行政、政治、経済界と地域が一体となった取り組みが不可欠です。未来への展望とともに当面する課題を一つひとつ着実に解決する即応力が求められています。

その例が、姫路城を核とした地域の活性化対策が喫緊の課題です。「平成の築城」を終えて、観光客人込数は2百万人を突破するなど名実ともに日本一の城となりつつあります。しかし、姫路城を核とした観光客増に対応するソフト・ハード両面からの総合的な観光ネットワークづくりが急務となっています。

また、地域創生は、人口の自然増、社会増対策が基盤となります。若者の流出を食い止めるためには、企業誘致など働く場の確保そして出産・子育てが可能な支援制度や医師看護師確保など住みやすい地域社会を構築が重要です。

兵庫経済の原動力である中小企業・地場産業の元気づくりを意を用いつつ、関連する政策を総動員しなければならぬと確信しています。

いま、政務活動費を巡って地方議会に厳しい目が寄せられています。政治に携わる者は、活動において一点の曇りや疑念を招くことがあってはなりません。兵庫県議会は、全国の範となる厳格化したルールを定めました。しかし、信頼回復への道のはなお半ばです。襟を正して不断の取り組みを続ける決意です。

浅学非才ではありますが、研鑽を積み重ね、分別を失わず、物事の本質を見失うことなく努力する所存です。変わらぬご指導を賜りますようお願いしごあいさつといたします。

県議会の一般質問に登壇しました！

五島壮一郎議員がこのほど、兵庫県議会での一般質問に登壇し、県政150周年を記念した「ひょうご県民の日」の



制定をはじめ、出産直後の女性や子育て家庭への支援、市川流域圏の総合治水対策、地域創生など多岐にわたるテーマで県

当局に質し、提案・要請しました。詳細は2面に掲載しています。主な質問項目は次の通りです。
第329回定例県議会
●就学前教育・保育への支援▽医師不足・偏在の解消▽看護師不足の解消など
第333回定例県議会
●多子型社会の推進▽中小企業の労働生産性向上に向けた支援など

五島議員の主な質問項目…

- 県政150周年を記念した「ひょうご県民の日」制定
- 出産直後の女性や子育て家庭への切れ目のない支援
- 製鉄広畑病院と循環器の統合再編と南西部医療体制の確立の進捗状況について
- 播磨臨海地域道路の早期実現 など（詳報は2面）

早稲田大学のマニフェスト研究所による平成27年度「議会改革度調査」の結果がこのほど発表され、兵庫県議会が都道府県議会ランキングで第1位に選ばれました。

議会改革度調査 兵庫県議会が都道府県1位に

しており、調査はその一環で平成22年度から実施しています。今年3月下旬にすべての地方議会に調査依頼を送付し、81・7%の1460議会が回答。議員研修の充実や政治費の公開と情報共有、県民との意見交換会の開催などが評価されました。

第329回定例県議会 五島議員の主な質問内容

就学前児童を持つ子育て家庭の支援重要

五島議員

人口減少を止めるために最も大切なのは少子化対策。特に、子どもを産んで、ある程度手が離れるまでの就学前の保育環境が十分でなければ、女性が働きながら子育てをすることははじめ、若い夫婦が子どもを持つことを躊躇してしまうことにつながりかねない。保育

環境をきちんと整備するとともに、経済的



支援として児童手当や各種公費負担制度などの支援が不可欠である。

井戸知事

処遇改善などで保育人材の確保に努め、経済的負担の軽減のため多子世帯対策や乳幼児等医療費対策などを進めていきたい。

播磨臨海地域道路の早期実現めざせ

五島議員

播磨臨海地域は日本を代表する企業の製造拠点が集積する、全国

屈指のものづくり拠点だが、この経済活動を支える国道2号バイパスや国道250号は交通渋滞が慢

播磨地方でサイクリングロード設定を

五島議員

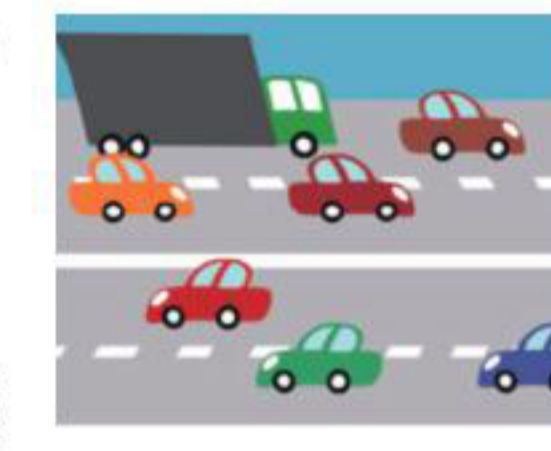
京都や金沢市のような観光地に追いつき、さらに発展していくためには、姫路城を中心とした広域的な観光をめざすべき。国交省が魅力的なサイクルルート認定する制度を検討していることから、広大な平野を占め

る播磨地方の名所をつなぐ新たなサイクリングロードを設定してはどうか。

産業労働部長

提案のサイクリングロードの設定は観光振興上で有効と考える。国の制度を活用した新たなルートづくりを支援していく。

性化し、緊急輸送への影響や排ガスなどによる地域環境への悪影響



も懸念される。企業誘致の条件にもなりうる播磨臨海地域道路の早期実現が必要ではないか。

井戸知事

同道路は延長50キロと長いことから、国は優先区間の絞り込み調査を進めており、後に概略ルート帯や道路構造を決める計画段階評価に着手する予定。

第333回定例県議会 五島議員の主な質問内容

県政150周年で「県民の日」制定へ

五島議員

兵庫県は再来年の平成30年に県政150周年を迎える。未来の兵庫の船出を象徴する新たな取り組みの一つとして、「ひょうご県民の日」の制定を検討してはどうか。ふるさと意識の醸成や県勢発展の観点からも大い

に意義がある。

井戸知事

150周年には地域間交流や国内外への発信・誘客を促す全県事業を展開する。具体的な事業は幅広いアイデアを県民から募集して事業計画を作成し、「県民の日」も検討する。

市川流域圏で総合治水対策進めよ

五島議員

近年の豪雨の頻発を考えると、「ながす」対策（河川下水道対策）だけで水害を完全になくすことは期待できず、「ためる」対策（流域対策）や「そなえる」対策（減災対策）にも取り組み、市川流域圏で総合治水対策を着実に進めて

いかねばならない。

県土整備部長

模型を活用し校庭貯留の仕組みや効果を説明する出前講座の開催や、総合治水の重要性等を伝える映像ソフトの制作など県民意識を向上させる取り組みも進め、流域圏全体の治水安全度を高める。



中小企業の生産性向上に支援必要

五島議員

中小企業が成長や持続的発展を成し遂げていくための最大のテーマは、生産性の向上だ。生産性が低迷している中小企業が、IT投資などをきっかけに業務プロセスの課題を解決していくという視点

に立った支援が重要である。

井戸知事

IoTによる企業間連携を紹介するセミナーを開催するなど、新たなビジネスモデルの創造につながる人材育成に取り組む。



東京五輪の選手団誘致などに支援を

五島議員

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、県と姫路市が共同でフランスのホストタウンとして登録され、フランス柔道選手団の事前合宿の誘致や、姫路市では聖火

リレーの誘致も進めている。実現すれば県民にとって一生の記憶に残る得がたい体験となる。

教育長

姫路市や県内市町との緊密な連携のもと、事前合宿や聖火リレーの招致を進める。

中小企業振興条例を議員提案で制定しました



兵庫県議会はこのほど、中小企業の支援に特化した「中小企業の振興に関する条例」を議員提案で上程し、制定しました。

中小企業を産業活力の原動力として位置づけ、金融や税制など執りうる措置を総動員して経済にカンフル剤を注いでいくのがねらいです。

また、条例では、県内企業の従業員数の8割を占める中小企業の振興を長期的に推進することを目的に、2018年度までを実施期間とする「ひょうご経済・雇用活性

化プラン」終了後も、中小企業振興の計画を策定し、議会に報告し検証していくことを規定しているほか、「地場産業の振興」や「商店街の活性化」も対象としているのが特徴です。